

(有)高田酒造場さんのご協力で

ずっと温め続けてきた

気持ち が 形 になりました

中島酒店 『いわいの水』



店主中島安子さんと安子さんのご主人俊治さん

「この店ならではのものを作りたい。」と、思いを温め続けて4年。ついに完成しました。中島醸造店の『岩井の水』復刻版『いわいの水』。復刻の現代版ということと、あえてひらがなの『いわい』にしました。中島醸造店とは、明治20年代から昭和18年頃まで言んでいた岩井にあった酒造場です。現在は中島酒店として販売のみしています。店主は中島安子さん。

中島さんはずっと「中島酒店らしいものを作りたい。岩井が元気になるものを作りたい。」と思いつけていました。そこで、ご主人の俊治さんと相談しながら思いついたのが、戦前の4代前が酒造していた『岩井の水』の復刻版を作ること。「復刻するなら岩美の酒がいい!!」そんなこだわりを叶えてくれたのが、岩美で唯一お酒を造っている(有)高田酒造場の社長です。中身は瑞泉の純米酒ですが、中島酒店オリジナルラベル『いわいの水』を貼ることで、『岩井の水』復刻版、『いわいの水』を販売することに成功しました。これは、中島酒店のみの販売です。販売日は12月12日。その日は偶然にも高田社長のお誕生日。高田社長も「おもしろい企画だ。」と応援しています。



中島さんは今回実現した販売について、『いわいの水』で岩井という地名を全国に発信して岩井を元気づけていきたい。また、ラベルを見て、岩井に来たことを思い出すきっかけになる商品になってほしい。」と意気込んでいます。

お正月で帰省されている方、また県外等へお出かけになる方、この機会に『いわいの水』をお土産にしてみられませんか。実は、この『いわいの水』には「祝いの水」という意味もあるので、おめでたい席にはぴったりですよ。

